

科目名	幼稚園教育実習Ⅱ					開講 キャンパス	神 園
担当者	櫻 井 京 子・二 宮 貴 之・井 上 聖 子						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	幼稚園教育実習Ⅰにおける経験と課題をふまえ、個々の幼児理解や援助の方法について学びを深め、保育実践に必要な指導力や技能を展開する。また、専門職としての幼稚園教諭の役割や職務についてさらに理解を深める。						
授 業 の 到達目標	1) 幼稚園教育の多様な在り方にふれ、それぞれの幼稚園の教育理念や特徴を理解し、述べる ことができる。 2) 3歳児から5歳児までの各年齢の発達の姿や、幼児の姿を年間の指導計画や短期指導計画 に位置づけて目標やねらいを設定することができる。 3) 時期や子どもの発達に応じた指導案を綿密に作成し、それに添って充実した保育が展開 できる。 4) 幼児一人ひとりを理解し、個に応じた援助について述べるができる。 5) 実習日誌を個々の幼児の指導や指導計画作成に役立つように綿密に書くことができる。 6) 幼稚園教諭の役割や職務内容を認識し、それらを述べるができる。 7) 子育て支援や幼小連携の重要性を理解する。 8) 実習先へのお礼状の重要性を理解し、書くことができる。						
学習方法	幼稚園教育実習10日間						
テキスト及び 参考書等	テキスト：①幼稚園教育要領解説書 文部科学省編 フレーベル館 ②「幼稚園教育実習」「保育実習」の手引き（本学子ども学部発行） 参考図書：③保育園幼稚園の実習 完全マニュアル 成美堂出版						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート			○	○		5	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			○	○		5	
その他	○	○	◎	◎		90	
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
	学外の各幼稚園において、10日間の実習を行う。幼稚園教育実習Ⅱの前には、各実習園でオリエンテーションを受け、実習に向けての準備等を各自主体的に、積極的に行う。実習中は、実習指導者の指導に基づいて指導計画を作成して部分実習や責任実習を行う。実習中に学んだ内容等は、考察を加えて実習日誌に詳細に記録し、幼児理解や保育観を深めるとともに、幼稚園教諭としての役割や職務を理解する。実習後にその成果と課題について報告と協議を行い、今後の学習課題を明確に把握する。						
備 考	・体調管理を十分に行い、遅刻・早退・欠席をしないこと。 ・実習日誌、指導案等の提出期限を厳守すること。 ・授業外学習（事前学習・事後学習）を適宜行うこと。 ・学生便覧の実習の履修内規を熟読すること。履修内規に反した場合は実習に参加できない。						